



2023年05月 現在

## FUJITSU Software

### Interstage List Creator Standard Edition V11.0.0

本製品は、ビジネス分野で必須の罫線 / 網がけを使った本格的な帳票を簡単に設計し、ノンプログラミングで帳票を出力するためのソフトウェアです。

Interstage List Creator Standard Editionは、ローカル帳票出力環境、および、別コンピュータのInterstage List Creator Enterprise Edition/Standard EditionおよびWorkstation機能と連携した大量分散帳票出力環境の構築に適しています。

- **サーバ**

SPARC Enterprise Tシリーズ / SPARC Enterprise Mシリーズ / SPARC Servers / マルチベンダーサーバ・クライアント / FUJITSU Cloud Service for SPARC

---

- **Workstation機能**

FMV / マルチベンダーサーバ・クライアント

- サーバ

Solaris 11(64bit)

---

- Workstation機能

Windows 11(64-bit) / Windows 10(64-bit) / Windows 10 / Windows 8.1(64-bit) / Windows 8.1

## 1. セールスポイント

Interstage List Creator Standard Editionは、帳票の出力業務をトータルにサポートします。また、様々な帳票出力形態（プリンタ、電子帳票保存）をサポートします。

- ・ノンプログラミングで帳票出力を実現

帳票定義と入力データ（XML形式、テキスト形式、またはCSV形式）を指定するだけで、帳票レイアウトに自動的にフォーマットして、帳票を出力できます。

データベースよりデータを抽出して帳票を出力することができます。

帳票を出力するために、新たにアプリケーションを作成する必要はありません。

さらに、Interstage List Worksと連携することで電子帳票保存ができます。

- ・多様な帳票出力環境の提供

大量帳票出力や離れた場所にあるサーバへ帳票出力が行えます。また、別のサーバからの要求による帳票出力は、Interstage List Creator Connectorとの連携によりアプリケーションサーバの負荷を分散した帳票出力環境を構築できます。

- ・効率的な帳票保守

システム運用開始後の帳票レイアウト変更や、出力先プリンタの変更、電子帳票運用への切替えといった帳票業務の変更を、簡単、迅速かつ的確に対応することができます。

- ・ERP連携

GLOVIA, SAP R/3といったERP製品と連携することにより、ERP製品に対して簡単にWeb帳票ソリューションを付加できます。

- ・多言語対応

Interstage List Creatorでは、各国の環境や言語に合わせた帳票（多国語帳票）を設計・出力できます。

Interstage List Creatorでは、多国語帳票として以下の言語をサポートしています。

- 日本語
- 英語
- 中国語（簡体、繁体）
- 韓国語
- タイ語
- ベトナム語
- ポルトガル語
- フランス語
- スペイン語
- ドイツ語
- ロシア語
- チェコ語

また、帳票様式定義情報で定義した項目属性を帳票出力時に置き換えて出力できる「項目属性の動的切替え機能」を使用すると、多国語帳票を効率的に設計・出力することができます。

## 2. 帳票フォーマット機能

帳票定義と入力データを指定するだけで、自動的に帳票レイアウトにフォーマットして帳票を出力します。帳票を出力するために、新たにアプリケーションを作成する必要はありません（ノンプログラミング）。入力データは、XML形式、テキスト形式またはCSV形式のため、入力データを生成するアプリケーションサーバの機種を問いません。

また、帳票設計時に設定した出力形式に従った印刷や、Interstage List Worksと連携した電子帳票保存を実行します。

## 3. データベース連携

事前にデータベースからデータの抽出条件を作成しておくだけで、データベースよりデータを自動抽出して帳票を出力できます。

---

#### 4. Webアプリケーション製品との連携

Javaインタフェースにより「Interstage Application Server」と連携したシームレスな帳票出力を実現することにより、Webシステムの開発工数削減や本格的なビジネス帳票運用が可能となります。

---

#### 5. 多様な分散帳票出力機能

リモート帳票出力機能により、別のサーバ (Oracle Solaris(TM) Operating System(以降Solaris OSと略), Windowsサーバ, Windowsクライアント, Linux) への大量帳票出力ができます。

また、別のサーバ (Solaris OS, Linux) からの要求で大量帳票出力ができます。なお、Interstage List Creator Connectorと連携することで、アプリケーションサーバの負荷を分散した帳票出力環境を構築できます。

これにより、離れた場所にあるサーバへの帳票出力や、アプリケーションサーバの負荷を分散した帳票出力環境を構築できます。

Solaris OSから、Windowsサーバへ帳票出力を行うことで、Windows版 Interstage List Creator、Interstage List WorksやInterstage Print Managerが提供する機能を使用することができます。

また、WindowsクライアントOSが動作する帳票出力サーバへ帳票出力を行うことで、Windows版 Interstage List CreatorやInterstage Print Managerが提供する機能を使用することができます。

---

#### 6. 各種インタフェースを実装

各種アプリケーションサーバに対応するためのインタフェースを提供します。提供インタフェースは、Java、COBOLおよびコマンドです。

---

#### 7. セキュリティ機能

どのような帳票出力が行われたかは全て監査証跡ログに採取されます。

また、出力する帳票に所有者や日時などを特定するためのID印刷が可能です。

これらの機能により、いざと言う場合の帳票の追跡を可能とします。

---

#### 8. Interstage List Creator Workstationの同梱

Interstage List Creator Standard Edition / Interstage List Creator Enterprise Editionに、Interstage List Creator Workstationが同梱されています。

これにより、クライアント環境において、Workstation機能が使用できます。

- 1) 帳票フォーマット機能
- 2) 多様な分散帳票出力機能
- 3) 各種インタフェースを実装
- 4) Interstage商品との連携(高信頼性印刷)

---

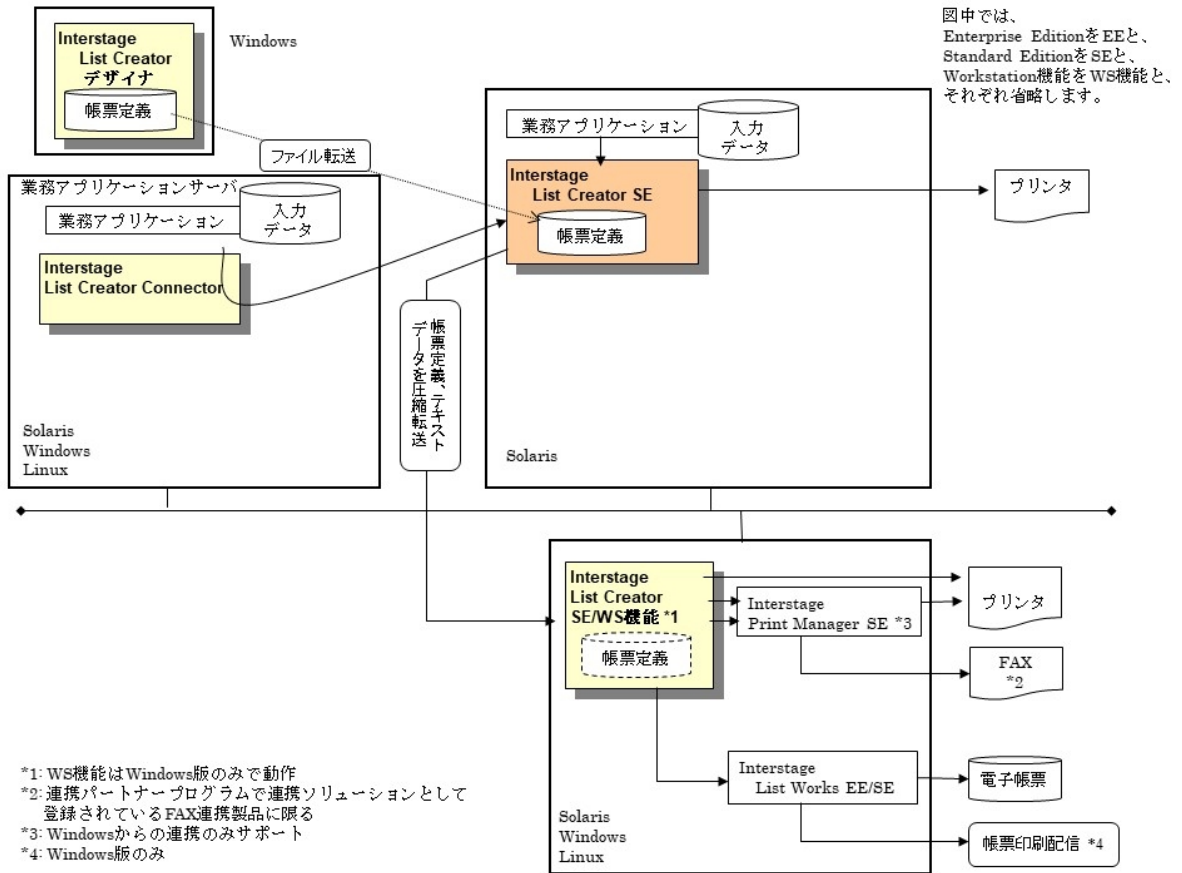
#### 9. 利用による効果

・Solaris OSやWindows、Linuxといった異なるオペレーティング・システムが混在した環境であっても、帳票出力業務を短期間で構築することができます。

・入力データがテキスト形式、CSV形式またはXML形式であり、分散帳票出力時のデータ転送サイズを小さくすることができ、LAN-WAN-LAN環境でもネットワーク帯域を有効に活用することができます。

・印刷処理から電子帳票保存への切替えなど、帳票業務の変更が短期間で簡単に行えます。お客様の業務アプリケーションを変更する必要はありません。

# システム/機能構成図



- \*1: WS機能はWindows版のみで動作
- \*2: 連携パートナープログラムで連携ソリューションとして登録されているFAX連携製品に限る
- \*3: Windowsからの連携のみサポート
- \*4: Windows版のみ

V10.0.0からV11.0.0の機能強化項目は以下のとおりです。

### 1. 帳票出力機能の強化

- Javaインタフェースについて、コネクタ連携を行う場合、64ビットのJava実行環境に対応しました。
- 新元号「令和」に対応しました。また、和暦の1年を「元年」と表記できる機能を追加しました。
- 和暦のカスタマイズができるようになりました。

---

### 2. 新OS対応

Workstation機能で、以下のOSに対応しました。

- Windows 11
- Windows 10

- ・ オンラインマニュアル
  - ・ マニュアル体系と読み方
  - ・ リリース情報
  - ・ 解説編
  - ・ 帳票設計入門ガイド
  - ・ 帳票設計編
  - ・ 環境設定・帳票運用編
  - ・ アプリケーション作成ガイド
  - ・ PDF変換機能編
  - ・ Excel ファイル出力機能編
  - ・ COBOLアプリケーション連携機能編
  - ・ ERP連携編
  - ・ トラブルシューティング集
  - ・ メッセージ集
  - ・ 用語集



### 【メディアパック】

- ・ Interstage List Creator Standard Edition メディアパック (32bit) V11.0.0

### 【ライセンス】

- ・ Interstage List Creator Standard Edition プロセッサライセンス (1年間24時間サポート付) V11

本商品のライセンス製品には、初年度の「SupportDesk Standard」がバンドルされています。

### 1. メディアパックについて

メディアパックは、媒体(CD/DVD等)のみの提供です。使用権は許諾されておりませんので、別途ライセンスを購入する必要があります。また、商品の導入にあたり、最低1本のメディアパックが必要です。

バージョンアップ/レベルアップを目的に本メディアパックのみを手配することはできません。

### 2. プロセッサライセンスについて

プロセッサライセンスは、本商品をインストールするサーバに搭載されているプロセッサ数に応じて以下の通りに必要となるライセンスです。

・シングルコアプロセッサの場合は、1プロセッサ（CODモデルの場合はCPU RTUライセンスを持つ稼働CPU）あたり1本の購入が必要です。

・マルチコアプロセッサの場合は、コアの総数に特定の係数を乗じた数（小数点以下端数切上げ）分のライセンスの購入が必要です。

- SPARC M12/M10 では、CPU コアアクティベーションキーにより有効化されたコアの総数に特定の係数を乗じます。

- SPARC Enterprise/PRIMEPOWER のCOD モデルでは、CPU RTU ライセンスを持つ稼働CPU 上のコアの総数に特定の係数を乗じます。

マルチコアプロセッサにおける係数については、「関連URL」に記載の「ソフトウェア：富士通（インフォメーション&ダウンロード）」内、「ライセンスについて、くわしく知る」を参照ください。

### 3. Workstation機能について

Interstage List Creator Standard Editionには、Workstation機能が同梱されており、接続するクライアントに対してインストールフリーです。

### 4. クラスタシステム（運用待機形態）で運用する場合の購入方法

1対1運用待機形態で運用する場合は、2ノードを1システムと考えて、1システムに本商品を1つ購入することで使用することができます。

### 5. クラスタシステム（運用待機形態以外）で運用する場合の購入方法

各ノード単位に、本商品を購入する必要があります。

### 6. ダウングレード使用（旧バージョン商品の使用）について

本商品のライセンスでは、ダウングレード使用（本商品の旧バージョンを使用）する権利はありません。

対象のバージョンを使用する場合は、対象のバージョンに対応したライセンスをご購入ください。

### 7. 7.x以降からのバージョンアップについて

7.x以降の本商品をお持ちの場合は、有償サポート・サービス「SupportDesk」のサービスの一環として、新バージョンを提供いたします。（お客様からのご要求が必要です。）「SupportDesk」を導入されていない場合は、新バージョン商品を改めてご購入頂く必要があります（価格の優遇はございません）のでご注意ください。なお、「SupportDesk」の詳細については、弊社営業/SE にお問合せください。

### 8. 6.x以前からのバージョンアップについて

6.x以前の本商品をお持ちの場合は、弊社営業/SEにお問い合わせください。

### 1. 利用者定義文字を使用する場合

Interstage Charset Manager Standard Edition Agent 9.3.0以降

---

### 2. VSP/PS5000シリーズへ印刷する場合

(1)FNP出力する場合

Business Printer Control 1.0、またはPrintWalker/BPC 6.0以降

(2)FM出力する場合(VSPシリーズのみ)

BSNPS 3.2(\*1)、または

Business Printer Control 1.0、または

PrintWalker/BPC 6.0以降

\*1: FM出力でUNIX形式(KOL5)オーバレイを使用する場合、BSNPS 2.0以降から使用できます。

---

### 3. 電子帳票を保存する場合

Interstage List Works Standard Edition/Enterprise Edition V10.1.0以降

---

### 4. 帳票設計をする場合

Windows版 Interstage List Creator デザイナ V9以降

また留意事項があります。下記を参照してください。

- ・留意事項「帳票設計環境と出力環境の運用について」
- 

### 5. コネクタ連携機能

(1)Solarisへのコネクタ連携機能を使用する場合

Interstage List Creator Enterprise Edition/Standard Edition 7.0以降(Solaris版)

(2)Windowsへのコネクタ連携機能を使用する場合

Interstage List Creator Enterprise Edition/Standard Edition V7.0L10以降(Windows版)

(3)Linuxへのコネクタ連携機能を使用する場合

Interstage List Creator Enterprise Edition/Standard Edition V7.0L10(Linux for x86(PRIMERGY)版)

または、

Interstage List Creator Enterprise Edition V7.0L10以降(Linux for Itanium(PRIMEQUEST)版) または、

Interstage List Creator Enterprise Edition/Standard Edition V9.1.0以降 (Linux for Intel64(PRIMERGY)版)

---

### 6. リモート帳票出力機能

(1)Solarisへのリモート帳票出力機能を使用する場合

Interstage List Creator Enterprise Edition/Standard Edition 7.0以降(Solaris版)

(2)Windowsへのリモート帳票出力機能を使用する場合

Interstage List Creator Enterprise Edition/Standard Edition/Workstation V7.0L10以降(Windows版)

(3)Linuxへのリモート帳票出力機能を使用する場合

Interstage List Creator Enterprise Edition/Standard Edition V7.0L10以降(Linux for x86(PRIMERGY)版) または、

Interstage List Creator Enterprise Edition V7.0L10以降(Linux for Itanium(PRIMEQUEST)版) または、

Interstage List Creator Enterprise Edition/Standard Edition V9.1.0以降 (Linux for Intel64(PRIMERGY)版)

### 1. プリンタ

PS5000シリーズ、VSPシリーズ

---

### 2. 負荷分散運用を行う場合

IPCOM EX2-1100、IPCOM EX2-3200、またはIPCOM EX2-3500

### 1. WindowsデスクトップOS(64-bit)上での動作

Workstation機能は、以下のOSのWOW64(注)サブシステム上で、32ビットアプリケーションとして動作します。

- Windows 8.1(64-bit)
- Windows 10(64-bit)
- Windows 11(64-bit)

注：Windows 32-bit On Windows 64-bit

### 2. 帳票設計環境と出力環境の運用について

(1) Interstage List Creator デザイナ V10.0.0以前で作成した帳票を、Solaris版 List Creator V11.0.0で帳票出力する場合

V10.0.0以前のList Creator用に作成した帳票は、Solaris版 List Creator V11.0.0でそのまま使用できませんが、以下の指定がある帳票は、Solaris版 List Creator V11.0.0では出力できません。

- データ定義でDBタイプに「Oracle」が指定されている場合
- XBRLデータとの対応付けが指定されている場合

(2) Interstage List Creator デザイナ V10.1.0からV11.0.0で作成した帳票を、Solaris版 List Creator V11.0.0で帳票出力する場合

(1)に加えて、以下の留意事項があります。

Solaris版 List Creator V11.0.0は、Windows/Linux for Intel64(PRIMERGY)版 List Creator V10.1.0からV11.0.0までの、追加機能の一部のみ対応しています。

このため、帳票出力サーバ側のSolaris版 List Creator V11.0.0のサポート機能の範囲内でのみ使用できません。

例えば、V10.1.0からV11.0.0までのList Creator デザイナを使用して、Solaris版 List Creator V11.0.0でサポートしていない機能を定義した帳票をSolaris版 List Creator V11.0.0で出力しようとする、エラーとなります。

帳票出力する場合に、留意が必要な互換情報など詳細は、オンラインマニュアル「リリース情報」を参照ください。

(3) Interstage List Creator デザイナ V11.0.0で作成した帳票を、旧バージョン製品で帳票出力する場合  
帳票出力サーバ側の旧バージョン製品のサポート機能の範囲内でのみ使用できます。機能レベルの低い方の機能範囲で使用してください。

例えば、Interstage List Creator デザイナ V11.0.0を使用して、旧バージョン製品でサポートしていない機能を定義した帳票を旧バージョン製品で出力しようとする、エラーとなります。

### 3. クラスタシステム上での動作について

本製品は、フェールオーバには対応しておりませんが、クラスタシステム上で動作可能です。

### 4. IPv6について

[サーバの場合]

(1) IPv6のグローバルユニキャストアドレス、ユニークローカルユニキャストアドレスのみが使用できません。

[Workstation機能の場合]

(1) IPv6のグローバルユニキャストアドレス、ユニークローカルユニキャストアドレスのみが使用できません。

(2) Interstage Print Managerと連携して高信頼印刷を行う場合、メッセージ通知先としてIPv6アドレスおよびIPv6ホストを指定することはできません。Print Managerのネットワーク環境については、ご利用のPrint Managerに添付のオンラインマニュアルをご確認ください。

---

## 5. Windows 8.1、Windows 10、およびWindows 11での留意事項

- Workstation機能を使用する場合

Windows 8.1以降で印刷中にOSのスーパーから、印刷の取り消しを行うと、List Creatorから出力されるエラーがID：1050ではなく、ID：1299のエラーが通知される場合があります。

---

## 6. 前版との差異について

(1) V11.0.0より、以下のOSでの利用はサポート対象外となります。

- Solaris 10
- Solaris 9
- Windows 8
- Windows 7
- Windows Vista

(2) V11.0.0より、以下の機能はサポート対象外となります。

- Navigator連携
- XBRLデータ対応機能
- 旧機能のDatabase Direct連携機能
- Oracle E-Business Suite連携
- 旧機能のOCI連携機能
- 印刷(Print Managerと連携した高信頼印刷機能)
- 印刷(VSPシリーズのプリンタへのPostScript出力)
- 印刷(VSPシリーズの連帳レーザープリンタへの出力)
- 帳票Webサービス機能
- 帳票Webサービスインタフェース
- 旧機能のJavaインタフェースの以下のクラスとメソッド
  - ・ PrintPropertiesクラスの旧メソッド、RemotePropertiesクラス、およびPrintFormクラスの旧メソッド
- CFXカスタムタグインタフェース
- Form Coordinatorとの連携機能

### お客様向けURL

- ・ **ソフトウェア：富士通（Interstage List Creator）**

本商品の詳細は、以下のホームページを参照してください。

<https://www.fujitsu.com/jp/software/interstage/listcreator/>

- ・ **ソフトウェア：富士通（インフォメーション&ダウンロード）**

「ライセンスについて、くわしく知る」の項で、富士通製ミドルウェア製品のライセンスに関する解説、サポート期間などの情報を提供しております。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/information-download/>